

青森県内5つの美術館・アートセンターによるアートフェス
AOMORI GOKAN アートフェス 2024
「つらなりのはらっぱ」

2024年4月13日(土) — 9月1日(日)
共通企画1 巡回展示 栗林隆 《元気炉》

青森県初となる県内の個性豊かな5つの美術館・アートセンター(青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館)が連携したアートフェス「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」は、会期後半8月9日(金)より、青森県立美術館を皮切りに栗林隆の《元気炉》が5館を巡回します。栗林は空間の内と外、自然と人間、人間同士の間にある境界など、あらゆる時代や場所に存在する「境界」に目を向けて、その意味を問い直すような作品を制作してきた作家で、《元気炉》は原子炉の形状をした構造物に薬草の香りを帯びた蒸気を発生させ、観客が中に入る体験型の作品です。本フェスでも開催館周辺に自生する野生の植物や薬草を使用するほか、各館で音楽イベントなどの関連企画を開催予定です。



左) 栗林隆 《元気炉》2022年 《蚊帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル)より Photo: Takashi Kuribayashi

右) 栗林隆 《元気炉》2022年 《蚊帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル)より Photo: Tatsuya Ichikawa

1) 青森県立美術館

- 展示 8/9(金) - 8/11(日)
- イベント 8/9(金)・8/10(土) 両日 18:00-20:00

2) 青森公立大学 国際芸術センター青森

- 展示 8/14(水)・8/15(木)
- イベント 8/14(水)・8/15(木) 両日 18:00-20:00

3) 八戸市美術館

- 展示のみ 8/18(日)、8/19(月)、8/21(水)

4) 十和田市現代美術館

- 展示 8/24(土)・8/25(日)
- イベント 8/24(土) 16:00-19:00

5) 弘前れんが倉庫美術館

- 展示 8/28(水) - 9/1(日)
- イベント 8/30(金) - 9/1(日) 全日 17:00-20:00
*8/30(金)・8/31(土)は夜間開館を実施(19:00閉館)

共通企画2 「ラーニングプログラム」

本アートフェスをより身近に楽しんでもらうためのラーニング事業として、主に小学校高学年の子どもを対象とした鑑賞ツールの配布と、高校生を対象とした作品鑑賞プログラムを行います。

鑑賞ツール「GOKAN ファイルブック」

訪れた子どもたちが美術館に親しみ、作品との出会いを楽しむため制作した鑑賞ツール「GOKAN ファイルブック」は、美術館での過ごし方や作品鑑賞を楽しむアイデアが詰まった小冊子と、各館で開催中の展覧会に関する鑑賞カード、そしてそれらを収納して持ち運ぶためのポケットフォルダーで構成されています。5館それぞれで内容が異なる鑑賞シートには、出展作品のジュニアガイドに加え、作品について主体的に鑑賞することを手助けするアクティビティが掲載されています。小冊子では、その場で気づいたことを直接書き込むことができ、各館の鑑賞シートを集めていくことで、自分だけの一冊を作ることができます。

配布： 7月上旬予定

対象： 小学校4-6年生

内容： -美術館での過ごし方や作品鑑賞を楽しむアイデアが詰まった小冊子
-各館で開催中の展覧会や出品作品に関する鑑賞シート
-収納して持ち運ぶためのポケットフォルダー

イラスト デザイン：

マエダユウキ（グラフィックデザイナー/イラストレーター）



高校生サマープログラム

青森県内の高校生を対象に、一步踏み込んだ作品鑑賞を経験し、新たな見方や考え方に触れる機会を設けます（8月開催予定）。

5 館が五感を刺激する—AOMORI GOKAN

新館長も加わり、青森アートの魅力を発信していきます

2024 年 4 月、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館では新館長が就任。引き続き各館の個性を打ち出しながら、青森アートの魅力を発信していきます。



左から 十和田市現代美術館 館長 鷲田めろろ
八戸市美術館 館長 佐藤慎也
青森県立美術館 館長 杉本康雄
弘前れんが倉庫美術館 館長 木村絵理子
青森公立大学 国際芸術センター青森 館長 服部浩之

本アートフェスに参加する青森県内の5つの美術館・アートセンターは2000年以降に開館（建て替え）し、いずれも独自の展示方法や、個性的な建築など、他の県ではみられない特徴的な美術館、アートセンターが揃っています。この度4月から青森公立大学 国際芸術センター青森に服部浩之氏、弘前れんが倉庫美術館は木村絵理子氏が館長に就任しました。服部館長は「青森は歴史がある場所でありながら、新しいことを受け入れていこうというところにポテンシャルを感じる。季節の移ろいと共に特徴ある地域をこの連携企画を通して巡り、体験してもらうことは、青森の可能性を広げる機会になる。館長という職については、長期的スパンでみる必要がある。学芸員としての経験を経て、再び館長という職に就いたことで、外での経験をいかながら青森の地域で出来ることを考えたい。」と語りました。また弘前れんが倉庫美術館の木村館長は「青森には建築と共に、コレクション、活動のタイプなど特徴的な活動をしている美術館、アートイン・レジデンスがあり、展覧会と一緒に、その土地特有の文化を共に楽しむという唯一無二のポテンシャルがある。ひとつの美術館が担うミッション、役割は多数あるが、相互に5館の個性をいかし、補い合いながら、展示や交流を通して互いに情報を発信できることは強みになる。青森全体としてアート、芸術にまつわる環境をつくる、そのおおきな視野で考えていくことが今後の目標。」とお話しされました。新館長が加わり、青森から発信する今後の活動に注目ください。

その他のニュース

前期展示が間もなく終了！ 後期、次のシリーズ展

■青森県立美術館

前期コレクション展「美術館堆肥化宣言」が 6月23日(日) で終了。後期は、生誕100年・没後60年 小島一郎 リターンズ Kojima Ichiro Returns。7月6日(土) - 9月29日(日)

■青森公立大学 国際芸術センター青森

メイン企画、「currents / undercurrents -いま、めくるめく流れは出会って」前期が 6月29日(土) で終了。後期は7月13日(土) - 9月29日(日)

■八戸市美術館

「コレクションラボ 007 大久保景造と八戸文化」3月23日(土) - 7月8日(月) まで。次の展示は、「コレクションラボ 008 彩る書」7月13日(土) - 10月28日(月)

もうすぐ開幕！ 同時開催展ほか

■青森県立美術館

「鴻池朋子展 メディシン・インフラ」 7月13日(土) - 9月29日(日)

■八戸市美術館

「tupera tupera のかおてん」 7月6日(土) - 9月1日(日)

■十和田市現代美術館

「尾角典子 #拡散」 7月6日(土) - 9月8日(日)

新しいグッズの紹介 | Tシャツ「ARTIST SERIES」、「AOMORI GOKAN てぬぐい」

各館の参加作家の作品からデザインしたスペシャルなシリーズ「ARTIST SERIES」。第一弾の本フェスのメインビジュアル岩根愛さんの作品に続き、各館から1名ずつアーティストを選出し、出展作品をモチーフにデザインしたTシャツ。7月1日より販売予定です。



IDA Daisuke

井田 大介

価格：各 4,400円 (税込)



SUZUKI Masaharu

鈴木 正治

素材：コットン100% サイズ M、L



Nagasawa Aoi

永沢 碧衣



HIGASHIKATA Yuhei

東方 悠平



Anais-karenin

アナイス・カレニン

青森ヒバの持つ抗菌・防臭・消臭効果を維持したオリジナル繊維 Filhiba® (フィリバ) を使った Cul de Sac-JAPON のてぬぐい。5つの缶をモチーフにした「缶柄」と、四角のピースを任意に動かし右上角に“GOKAN ロゴ”遺伝子のとんがりを加えた「縄文柄」の2種を発売します。



サイズ：350×900mm

素材：綿（オーガニックコットン）70%、レーヨン 30%

価格：缶柄 縄文柄 各 1,980円 (税込)

青森県内周遊企画

県内5つの美術館と共に各地域にある自然や文化、街並みなど様々なアートに五感で触れる「青森県の旅」が企画されています。県内の観光スポットと美術館を巡るツアーです。詳細は「また旅くらぶ」WEBサイトでご案内しています。 <https://matatabi-club.com/>

- ◆アート×白神山地×マタギ
- ◆アート×奥入瀬渓流×ルピナス
- ◆アート×弘前の建築
- ◆アート×津軽烏城焼×田んぼアート
- ◆アート×種差海岸×WHARF TANECHI
- ◆アート×OTTABIO×KOYA
- ◆アート×3匹の犬と11匹きのねこ×ひまわり



出展コラボ情報

・メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド (MMM) (東京・銀座)

6月14日(金)–8月31日(土) 11:00-19:00 入場無料

大日本印刷株式会社 (DNP) が、文化活動の一環として企画運営する メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド (MMM) (東京・銀座) で、アートからはじまる、地域の魅力発見 「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」 特集が開催されています。5つの施設の紹介や県内周遊の案内、公式グッズの販売も実施しており、東京でフェスや青森の情報を得られるスペースになっています。今後イベントも開催予定です。

会場 メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド (MMM)
東京都中央区銀座 7-7-4DNP 銀座アネックス (地下鉄「銀座駅」A2 出口より徒歩5分)

休館日 日曜・祝日 B1F ライブラリーは月曜日休館

入館料 無料

主催 大日本印刷株式会社 (DNP)



・PASS THE BATON MARKET

7月20日(土) – 7月21日(日) 11:00-19:00 ※最終日は18:00 終了

企業やブランド、産地が抱えている“もったいない”や“困りごと”に向き合い、世の中に紹介していく場として2019年に始まったこれまでにない蚤の市「PASS THE BATON MARKET」。16回目を迎える本年、「AOMORI GOKAN temporary store」が出展します。アートと青森の魅力あふれる人・モノ・ことを紹介。青森を生産地にもつ商品や生産の過程ででた廃材を再利用した商品、フェスのオリジナルグッズ等を出展します。

会場 コクヨ東京品川オフィス 『THE CAMPUS』

入場料 300円

主催 PASS THE BATON (株式会社スマイルズ)

－開催概要－

| タイトル (日) AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」

| タイトル (英) AOMORI GOKAN Arts Fest 2024 「Interweavers in Open Fields」

| 会期 2024年4月13日(土)－9月1日(日)

| 主催 AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会
[青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館、青森県、青森市、弘前市、八戸市、十和田市、(公社)青森県観光国際交流機構]

| 実行委員長 青森県立美術館 館長 杉本康雄

| 特別協賛 (株)プロクレアホールディングス
リベラ (株)

| 協賛 青森県信用金庫協会 富士見総業(株)
(株)角弘 紅屋商事(株)
(株)三和堂 (株)マエダ
津軽海峡フェリー(株) (株)吉田産業
東和電材(株)

青森朝日放送(株) (株)東奥日報社
(株)青森テレビ 八戸酒造(株)
青森放送(株) (株)日立製作所東北支社
青森三菱電機機器販売(株) 丸大堀内(株)
青森三菱ふそう自動車販売(株) 三八五流通グループ
(株)あさひほうむ (株)陸奥新報社
(株)オプティム (株)ラグノオささき
(株)デーリー東北新聞社 (株)リンクステーション

青森県商工会議所連合会 藤村機器(株)
(一社)慈恵会 プライフーズ(株)
(株)城ヶ倉観光 (株)丸大サクラキ薬局

NEXCO 東日本

倉橋建設(株) 南部電機(株)
(株)トロンマネージメント

| 企画 ・青森県立美術館 池田亨、菅野晶、板倉容子、高橋しげみ、
奥脇高大
・青森公立大学 国際芸術センター青森
慶野結香、瀬藤朋
・弘前れんが倉庫美術館 木村絵理子、佐々木蓉子、宮本ふみ
・八戸市美術館 平井真里、大澤苑美、高橋麻衣
・十和田市現代美術館 外山有菜

| 公式 WEB サイト <https://aomori-artsfest.com>

| SNS ・X (旧 Twitter) @aomori_artsfest
・Instagram @aomori_artsfest
・facebook @aomori_artsfest
・ハッシュタグ #青森アートフェス #aomori_artsfes

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 リリースVOL.6 広報画像申請書

2024年4月13日(土) - 9月1日(日)

■貴社についてお知らせください

○媒体名

○ご担当者名

様

○ご住所〒

○TEL番号

○貴社名

○所属部署

○E-mail

○FAX番号

○ご掲載・放映の予定日が決まっておりますお知らせください 月 日

▼読者プレゼント(5館周遊のガイドブックと招待券5名分)

希望する

名分

希望しない

読者プレゼント向け招待券は、画像1点以上掲載の上、本フェスをご紹介いただける場合に限りさせていただきます。

尚、2024年7月31日までに掲載(ご紹介)いただいた分を対象とします。

▼希望される広報画像の番号に「○」をつけてください。

A AOMORI GOKAN アートフェス 2024 ポスター画像

5つの美術館・アートセンターの外観画像

B 青森県立美術館 外観

C 青森公立大学 国際芸術センター青森 外観

D 弘前れんが倉庫美術館 外観 ©Naoya Hatakeyama

E 八戸市美術館 外観 ©Daici Ano

F 十和田市現代美術館

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 メイン企画

- 1 青木淳 《つらなりのはらっぱのための壁》2024年 青森県立美術館 「かさなりとまじわり」
- 2 井田大介 《Synoptes》2023年 青森県立美術館 「かさなりとまじわり」
- 3 岩根愛 《The Opening》2024年 青森公立大学 国際芸術センター青森 「currents / undercurrents -いま、めくるめく流れは出会って」
- 4 蜷川実花 《Sanctuary of Blossoms》2024年 弘前れんが倉庫美術館 「蜷川実花展 with EiM: 儚なくも煌めく境界 Where Humanity Meets Nature」
- 5 狩野哲郎 《あいまいな地図、明確なテリトリー》2024年 弘前れんが倉庫美術館 「弘前エクステンジ#06『白神視見考』」
- 6 展示風景 東方悠平 《自由の像、不自由なバナナ》2024年 八戸市美術館 「エンジョイ!アートファーム!!」
- 7 展示風景 (丹羽海子、墓原蓉子) 十和田市現代美術館 「野良になる」

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 共通企画

- 8 栗林隆 《元気炉》2022年 (《蚊帳の外》ドクメンタ15、ドイツ・カッセル) より Photo: Takashi Kuribayashi

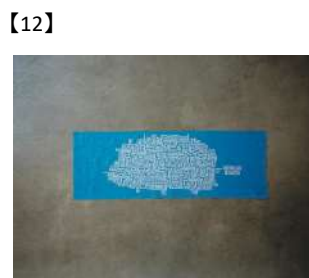
その他の画像、グッズ

- 9 AOMORI GOKAN 館長 集合写真
- 10 公式ガイドブック 「スタンプラリー&パスポート」付き 1,300円(税込)
- 11 Tシャツ「ARTIST SERIES」Nagasawa Aoi 4,400円(税込)
- 12 AOMORI GOKAN てぬぐい 縄文柄 1,980円(税込)
- 13 5館共通 鑑賞ツール「GOKANファイルブック」

お問い合わせ先<広報事務局>

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 広報事務局 [N&A内] 担当: 鎌倉、進藤 MAIL: aomoriart-gokan@nanjo.com

〒153-0051 東京都目黒区上目黒1-11-6 TEL 03-6261-5784 / 鎌倉 050-5530-6731 / FAX 03-6369-3596



◀ 広報画像、取り扱いに関するお願い ▶

- 作品画像の使用はAOMORI GOKAN アートフェス 2024をご紹介いただく場合のみとし、閉幕後の使用はできません。
- 作品画像をご紹介いただく場合は、展示美術館名、指定のキャプションを必ずご記載してください。
- 全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせは禁止となっております。
- 掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までFAX又はメールにてお知らせください。
- ご掲載頂いた場合は、お手数ですが、掲載紙（誌）または同録を広報事務局までお送りください。